

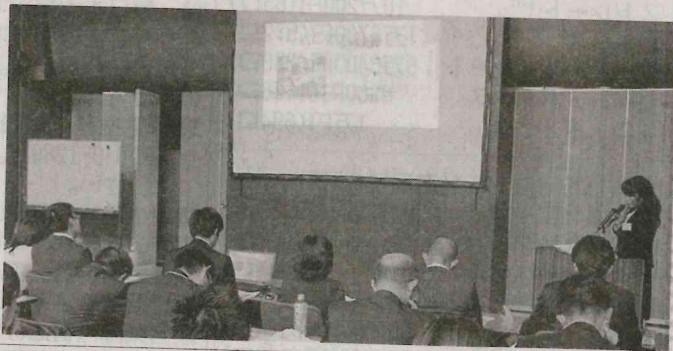
10校が成果発表

名古屋で実践報告会

NIE

教育に新聞を

新聞を学校教育に活用するNIE活動の実践報告会が26日、名古屋市内で行われた。写真。県内で実践指定校になっている小中高校の計26校のうち、指定2年目の10校が取り組みや成果を発表した。



同市立桜丘中の林利征教諭は、熊本地震を受け生徒たちが避難所運営の課題と解決策をまとめた「桜丘新聞」を作成した経過を報告。「論理的で伝わりやすい文章を意識した。考え、伝えること

に自信をつけた」と手応えを語った。

道徳の授業で義足の少女の記事を扱った扶桑町立扶桑東小の野田真志教諭は「記事を通じて、境遇の違う他者の人生に触れることができる。社会で起きていることを知り、自分に置き換えて考える習慣が身についてきた」と述べた。

報告会には教職員や報道関係者ら約100人が出席した。県NIE推進協議会長の土屋武志・愛知教育大教授は来年8月に名古屋市でNIE全国大会が開かれることを踏まえ、「さらに実践を深め、成果だけでなく多様な課題を提起してほしい」と話した。

【長谷部光子】